

# 閑話 休題

＜カンワキュウダイ＞

閑話休題：無駄話をやめて、話の本題に入ること。ヒマさえあれば無駄話ばかりしている編集室ですが、たまには大切なことも語ります。

今回は、私たちの住むこの地域の将来にも関わる観光の「活性化」について、歴史と絡めて考えてみたいと思います。国を語らずして世界を語るなというなれば、ここを語れずして日本は語れません。この土地の歴史を考えてみませんか？

## 七回目のお題

# 歴史

を知って今を生きる

横手湯沢周辺の歴史、ご存知ですか？はるか昔の律令制下、雄勝・平鹿・山本郡に分かれており、この三郡は総称して「山北＝せんぼく」と呼ばれていたそうです。源頼朝の奥州征伐に従軍した小野寺氏（現在の栃木県で興る）が軍功により雄勝郡の地頭職に任命。遠かったためか出羽国に下ったのは何代か後の経道からといわれ、出羽小野寺氏の祖とする文献も多いとか。（気が遠くなってきた方ももうちょっとだけお付き合いくださいな。）

出羽小野寺氏の歴史は稲庭城から始まります。米どころ横手盆地を西に望む要衝を占め次第に力を蓄え、山北三郡の庄主といわれるほどに勢力を伸ばして西馬音内や湯沢の分家が派生したとされます。スペースの関係で割愛してお伝えすると、南部氏と戦い横手城を奪い返すなど活躍の後、豊臣政権下の戦国大名として軍役を無難にこなしましたが、関ヶ原合戦で徳川家康の要請を受けるも時代を読み誤り、参陣要請を無

あたりまえですが  
あなたが学んだ日本の歴史は  
この土地と繋がってます。

視した咎で改易。石見国津和野（現在の島根県津和野）へ配流されてしまいました。猛き者も終には滅びぬ、戦国時代の物語。県南を網羅したこの歴史、うまく観光に使えないものでしょうか…盛者必衰の軌跡ツアーとか。

まあ、そんなに遡らずとも材料はまだまだあります。戦後の混沌期、明るい歌声で国民に希望を与えた並木路子の「リンゴの唄」。主題歌となっているGHQ検閲第一号映画としても有名な「そよ風」の監督は雄物川町出身なんです。おまけに口ケ地は増田町！赤いリンゴは増田のリンゴなのです。ちなみに問い合わせた際、増田地域局の保留音はリンゴの歌でした。この事実、あまり知らされていないように思います。（監督名は雄物川町のスタッフも知らず…）栄華を極めた蔵も絡めて町おこしもいいかも。↑（かかってますし）掘り起こせば呼び水はまだまだたくさんありそうです。

歴史を活用して県内外問わず、いろんな人に興味をもってもらえたらうれしいですね。